

# 380名の新しい光

## 平成28年度 入学式挙行

# 千西一遇

第39号  
2016年  
4月22日発行  
上田西高校  
代表  
堀田あゆ



4月5日(火)に平成28年度第56回上田西高等学校入学式が行われ、380名の新入生が新しい制服に身を包んで門をくぐった。当日は西高の桜も満開になり、保護者と共に記念撮影をする新入生の姿

が見受けられた。桜井校長先生は、「本校を目指し、入学してくれたことに大歓迎。西高に新たな仲間が増えることがなによりも嬉しい。1年生には、何かに夢中になり充実した学校生活を送ってほしい」とおっしゃっ

### 入学式での新入生の様子

入学式での新入生の様子。1組の母袋準さんは「新しい生活が始まることに楽しみを感じている。勉強と部活動の両立をし、部活動では卓球で県大会に出場できるよう日々の練習を頑張っていく。」と、高校生活への意気込みを語ってくれた。

た。式後の各教室でのホームルームでは、「新しい先生と友達でとても緊張した。」という人がほとんどだった。そんな中、1年2組の金井芽南さんは「入学式を終えて、これからの高校生活に、ワクワクとドキドキでいっぱい。西高生としての自覚をもち、まずは、勉強を頑張りたい。」1年5組の島津銀河くんは「勉強と部活動の両立ができるか不安だが、サッカーで全国に行く!という目標を達成するために精一杯努力する。」また、1組の母袋準さんは「新しい生活が始まることに楽しみを感じている。勉強と部活動の両立をし、部活動では卓球で県大会に出場できるよう日々の練習を頑張っていく。」と、高校生活への意気込みを語ってくれた。

### 対面式



新入生代表の挨拶をする1年1組の大橋寛介さん

4月6日(水)に対面式が行われた。新入生はまだ着なれぬ制服に身を包み、生徒会役員のあとに続いて体育館へ入場した。生徒会役員による生徒会太鼓の歓迎を受け、これから始まる3年間の高校生活に胸を躍らせていた。

そして、入学式から二回目となる校歌斉唱では、慣れない歌詞に戸惑いながらも、上田西高校の一員となったことを改めて実感している様子であった。統括を務めた3年1組の玉井ふたばさんは「新入生と在校生が初めて対面する場なので、この会を通して全校が気持ちの良いスタートをき

れるきっかけとなってくれたら嬉しい。」と話した。対面式を終えて、1年8組の西野入嵩大さんは「多くの仲間と先輩方に圧倒されつつも嬉しく感じられた。この3年間では勉強も部活動も全力でやると決心し、勉強では信州大学教育学部に合格すること、部活動では中学から続けている柔道部に入部を決め、数多くの相手に勝ち自分自身の柔道を見つけていくこと、という2つの目標を達成できるように頑張りたい。」また、1年2組の小平和実さんは「勉強や部活動など新たな1歩を踏み出そうという思いで入学したい。大きな緊張で溢れているが文武両道を目指し、自分の目標に向かって走っていきたい。」と語ってくれた。各行事を通じてクラス、学年の壁を超え、1年生も二、三年生と交流を深めていって欲しい。